

【委員会の議事要旨】

羽田空港の施工不良のあった地盤改良工事の補修に関する「現地試験施工計画(案)」・「設計及び施工計画(案)」について確認していただき、ご了承をいただいた。

委員会の主な意見は以下の通り。

- ① 「現地試験施工計画(案)」・「設計及び施工計画(案)」については妥当である。
- ② 浸透固化処理工法の適用においては、現地試験施工に必要な調査を実施し、地盤の透水性を確認する必要がある。
- ③ 浸透固化処理工法において、事前事後でPDC試験(※1)を実施し、Ndと q_u の関係を整理するとよい。
- ④ HY-Lブロックにおける一部の層においては、十分な液状化強度を有していることが確認出来たことから改良の必要性は無い。
- ⑤ 羽田空港の地盤特性の確認を行うため、CPG工法、浸透固化処理工法及び高圧噴射攪拌工法の各々の実施箇所において、地中における弾性波探査若しくはクロスホール法(※2)を現地試験施工の段階で実施する必要がある。

※1 地盤情報を原位置試験のみで評価できるサウンディング調査法

※2 複数のボーリング孔を利用した方法

【開催内容】

日 時 : 平成29年6月21日(水) 15:30-17:30

場 所 : 関東地方整備局 横浜第二合同庁舎 14階会議室

主 催 者 : 関東地方整備局



主催者挨拶



委員長挨拶

【委員構成】

委員長	善 功企	九州大学大学院 工学研究院 特任教授
委員	春日井 康夫	(一財)沿岸技術研究センター 審議役
	小濱 英司	港空研 耐震構造研究グループ長
	佐々 真志	港空研 動土質研究グループ長
	坪川 将丈	国総研 空港施設研究室長
	林 健太郎	(一社)日本埋立浚渫協会 技術委員会 埋立地の地盤改良に関するWG座長
	水谷 崇亮	港空研 基礎工研究グループ長
	森川 嘉之	港空研 地盤研究領域長
	山崎 浩之	港空研 特別研究主幹

※国総研とは、国土技術政策総合研究所の略。

港空研とは、国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所の略。

※委員については、五十音順。

【開催状況】

- 第4回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会
(平成29年6月21日開催)

- ・[議事要旨](#)

- <配布資料>

- ・[議事次第](#)

- ・[第4回羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会資料](#)

- 第3回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会
(平成29年3月17日開催)

- ・[議事要旨](#)

- <配布資料>

- ・[議事次第](#)

- ・[第3回羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会資料](#)

- 第2回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会
第2回 松山空港地盤改良修補有識者委員会
第2回 福岡空港における地盤改良に関する修補検討委員会
合同委員会(平成28年11月25日開催)

- ・[議事要旨](#)

- <配布資料>

- ・[議事次第](#)

- ・[資料-1 各空港における工法比較](#)

- ・[資料-2 現地地盤調査計画\(案\)](#)

- ・[資料-3 予備実験を実施する3工法の概要](#)

- 第1回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会
(平成28年9月29日開催)

- ・[開催報告](#)